



No.	遺跡名	流域河川	旧石器		縄文					弥生	古墳	古代	中世	近世	
			AT前	AT後	縄石器	文化期	草創期	早期	中期	後期					
1	杉ノ尾洞穴	相浦川				●									
2	上炭床岩陰	相浦川					●	●	●	●	●	●			
3	池野谷洞穴	相浦川						●	●	●	●	●	●		
4	岩下洞穴	相浦川	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
5	泉福寺洞窟	相浦川	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
6	大門洞穴	相浦川					●	●	●	●	●	●			
24	大古川岩陰	相浦川						●							
7	菰田洞穴	相浦川支流小川内川	●	●?			●								
8	下本山岩陰	相浦川					●	●	●	●	●	●		●	
9	牽牛崎洞穴	相浦川 海食洞						●	●	●	●	●			
10	中通洞穴	佐世保川							●						
25	桜木岩下岩陰	佐世保川						●	●						
11	龍神洞穴	佐世保川									●	●			
12	天神洞穴	日宇川	●				●	●	●	●	●	●			
13	岩谷口第1岩陰	佐々川					●	●	●	●	●	●			
14	岩谷口第2岩陰	佐々川					●		●	●	●	●			
15	中谷洞穴	佐々川							●			●			
16	長谷洞穴	佐々川							●			●			
17	橋川内洞穴	佐々川					●	●	●	●	●	●			
18	福井洞窟	佐々川支流福井川	●?	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
23	直谷岩陰	佐々川支流福井川	●?	●?											
19	直谷岩陰	佐々川支流福井川	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●
20	不動明王岩陰	佐々川支流福井川		●?											
21	牧ノ岳洞穴	佐々川支流福井川						●		●	●	●			
22	大悲観岩陰	小佐々川					●	●	●	●	●	●			

お問い合わせ先

佐世保市教育委員会社会教育課 Tel 0956-24-1111 Fax 0956-25-9682



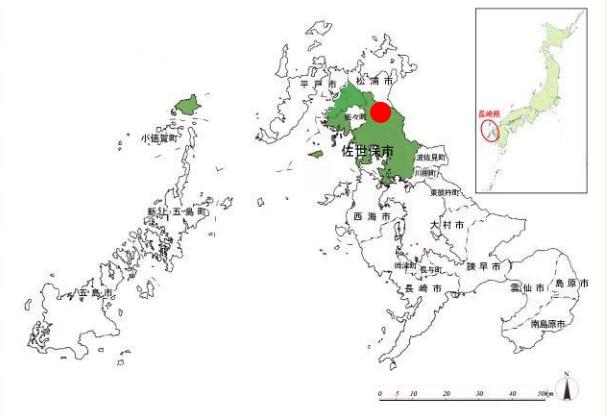
佐世保市教育委員会

## 洞窟を利用した人々

今から3万年以上のむかし、日本列島がまだユーラシア大陸と陸続きだったころ、列島西端の吉井町福井の洞窟にナウマンゾウなどの大型動物を追ってきた列島最古級の人類が、石器を狩猟の道具として生活をはじめた。昭和35、38、39年に東北大学の芹沢長介先生、岡山理科大学の鎌木義昌先生により発掘調査が行われ、昭和53年に、旧石器時代から縄文時代の発展過程あるいは縄文文化の成立に関する成果によって、国の史跡に指定されている。この洞窟は、今私たちに何を伝えようとしているのだろう。

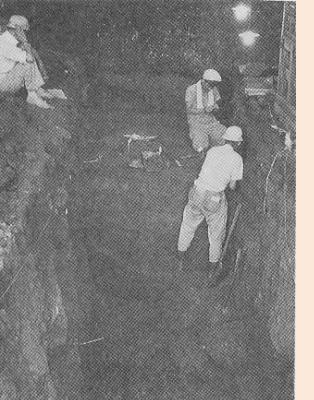


福井洞窟の位置



佐世保市は、九州最西端にあたり、大陸に近縁しています。福井洞窟は、佐世保市北部の吉井町に位置し、福井川に南岸に開口した間口12m、奥行8mの大きな洞窟です。

昭和30年の発掘調査



調査の結果、何層にもまたがる石器時代の文化が確認されました。最下層からは、当時の年代測定値で限界値にあたる2万9千年前以上という年代値が得られました。

平成の発掘調査



調査の結果、洞窟上部で消失して不明だった縄文早期の石槍の製作の様子がよく分かりました。福井15層に相当する石器も確認されました。

## 福井洞窟の歴史

洞窟利用のはじまり（約4万～1万年前）



福井洞窟の周辺にある原石（安山岩）を使用して、狩猟具の石器を作っていたようです。福井洞窟の利用のはじまりは、大きな謎の一つです。一体、どんなヒトが、どんな道具を使い、どんな技術をもっていたのでしょうか。

縄文時代の幕明け（約1万5千年前）



福井洞窟は、地層ごとに段階的に発掘されたことで、段々と文化が変化していく様子がわかっています。特に、石器だけを使用した遊動する生活から縄文土器や弓矢などを使い定住した生活へと文化の移りゆく様子がはっきりとしています。同時に環境も大きく変化したでしょうが、まだまだ謎が多いのです。

拠点と衛星の洞窟（約7千年前）



この頃には、拠点的に長期間利用する洞窟とキャンプのように短い利用をする洞窟があったようです。福井洞窟は、拠点的に利用され、洞窟の広い範囲を生活の場としていたようです。